安城家の舞踏會（1947）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 89分
初公開日 1947/09/27
公開情報 松竹

【解説】
吉村公三郎が原作と監督を担当した、名門華族の没落を描くドラマ。新藤兼人はチェーホフの『桜の園』をベースに脚本を執筆したという。
かつて栄華を誇った名門華族の安城家。しかし世界大戦の終結とともに、他の華族と同様、没落の一途をたどっていた。財産を失い、ついには家屋敷までも手放す時を迎えようとしている。当主の忠彦は最後を飾る舞踏会を開催、多くの客が安城家を訪れた。広間で華やかな舞踏会が開かれる。しかし別室では忠彦が、家を抵当に取っているヤミ会社の社長に「屋敷を手放したくない」と懇願し拒否されていた。また、かつて安城家の運転手で今は運送会社の社長となった遠山が、長女の昭子を手に入れるため屋敷を買い取ると言い出した。

【クレジット】
監督 吉村公三郎
製作 小倉武志
原作 吉村公三郎
脚本 新藤兼人
撮影 生方敏夫
美術 浜田辰雄
音楽 木下忠司
出演 滝沢修
森雅之
原節子
逢初夢子
神田隆
津島恵子
清水将夫
日守新一

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.